

パプアニューギニア

主要データ

国名〔英名〕	パプアニューギニア独立国 〔Independent State of Papua New Guinea〕
面積(km ²)	462,840
海岸線延長(km)	5,152
人口(百万人)	6.9
人口密度(人/km ²)	14.9
GDP(十億 US\$)	21.81
一人当り GDP(US\$)	3,156.43
主要鉱産物：鉱石	銅、金、銀、ニッケル、コバルト
主要鉱産物：地金	なし
鉱業管轄官庁	鉱物政策及び地質ハザード管理省 (Department of Mineral Policy & Geohazards Management) 鉱物資源庁 (Mineral Resources Authority)
鉱業関連政府機関	鉱業諮問委員会 (Mining Advisory Council)
鉱業法	1992 年制定鉱業法 (Mining Act 1992) Mining (Safety) Act & Regulations 2007 鉱山保安法(第.195 章 A) (Mining Safety Act (Ch.195A))
ロイヤルティ	特別採掘権者及び採掘権者に対し鉱物販売純利益の 2%賦課
外資法	1992 年制定投資促進法 (Investment Promotion Act 1992)
環境規制法 (環境影響調査制度、 環境・排出基準の有無等)	2000 年制定環境法 (Environment Act 2000)
鉱業公社	鉱物資源開発会社 (Mineral Resources Development Company: MRDC) Kumul Minerals 社
鉱業活動中の民間企業	Barrick Gold、Newcrest Mining、Harmony Gold Mining 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、 労働争議、環境問題等)	PNG 政府は鉱山プロジェクトの権益の 30%分を原価で取得する権利を持つが、この政府分の権益は国営の Kumul Minerals 社によって保有される。Kumul Minerals 社は Kumul Minerals Holdings Limited Authorisation Act 2015 の中で位置づけられた国営企業であり、2016 年 7 月に発足した。
2017 年のトピックス	1992 年制定の鉱業法の改正作業が行われているが鉱業界からの反対を受けて見直し作業が行われている。

1. 鉱業一般概況

鉱業は PNG 経済において大きな位置を占めている。2017 年において PNG の輸出総額 314.6 億キナのうち、鉱物資源輸出額は 116.9 億キナであり、輸出総額に占める割合は 37.2% である。金輸出額は 75.8 億キナであり、鉱物資源輸出額の 64.8% を占める。また銅輸出額は 19.6 億キナであり、鉱物資源輸出額の 16.8% を占める。

鉱業の中心は、Ok Tedi 銅・金鉱山と、Porgera、Lihir 等の金鉱山である。銅・金以外では、中国資本が参加している Ramu ニッケル・コバルト鉱山が 2012 年に生産を開始している。また、Frieda River 銅・金プロジェクト、Wafi-Golpu 金・銅プロジェクト等の大型探鉱プロジェクト並びに海底熱水鉱床の開発を目指す Solwara 1 プロジェクトが存在する。

2018 年 2 月 26 日に発生した内陸の Highlands 地域を震源とするマグニチュード 7.5 の地震により Ok Tedi 鉱山においては地滑りによりアクセス道路が封鎖されるなどの被害が生じた。Porgera 鉱山においても発電施設が損傷するなどの被害が生じたことから操業規模を縮小したが、同年 6 月に発電施設の修理完了等によりフル操業を再開している。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 鉱物資源庁 (MRA) 法の改正

2017 年に鉱物資源庁 (MRA) 法改正法案の審議が開始され、2018 年 3 月に議会で可決、同年 7 月に裁可を得た。同改正法によれば、MRA の理事会の構成メンバーから産業界の代表者が排除されることになる。また鉱業賦課金 (mining levy) の料率が 0.25% から 0.5% に倍増となり、さらに賦課金収入の 35% 分は鉱物政策及び地質ハザード管理省の予算に繰り入れられることになった。このため、鉱業石油会議所 (Chamber of Mines and Petroleum) は、鉱業の規制や管理の実施に際して産業界の関与がなくなること、また賦課金の増加はすなわち増税と同じであること、さらに MRA 関係以外の事業にも賦課金収入が使用され得るとして懸念を表明している。

(2) 鉱業法の改正の動き

1992 年制定の鉱業法 (Mining Act 1992) の改正作業中であり、新たな鉱業政策も策定中である。報道によれば、鉱業法改正案には、マイニングリースを保持することが出来る期間を 40 年から 25 年に短縮すること等が盛り込まれている。またマイニングリースの第 1 期の満了後に政府が鉱山の権益の一部を取得する権利を持つことなども定められている。これらの他、回収不可能な費用 (埋没費用) を政府のエクスポートヤーとすることに制限を加えることなども規定されている。また同改正案には既得権条項が設けられていない。

鉱業関係者は同法改正に伴う上記の制度の変更によって、鉱業への投資が妨げられる可能性があるとして同法の改正に反対している。同法改正は過去数年に亘って議論されてきたが、産業界からの反対を受けて未だ法改正は行われていない。

なお同法改正案においては探鉱リースを 2 年間から 5 年間に延長することや提出書類の改善なども盛り込まれておりこちらの改正内容は産業界において評価されている。

(3) 砂金などの漂砂採掘を規制するための制度の検討

2017 年 8 月の報道によれば、新たに就任した Johnson Tuke 鉱業大臣は、漂砂採掘のための制度を整備することが今後就任 100 日間のうちの重要な政策の一つであるとして、関係機関に対して漂砂採掘を規制するための制度を検討するように指示したと述べた。

(4) 海域の鉱業プロジェクトに関係する地方行政区との利益分配合意のコンセプトを作成

2017 年 10 月の報道によれば鉱物政策及び地質ハザード管理省は海域での鉱業プロジェクトに適用される利益分配合意である「Coastal Area Benefit (以下「CAB」)」のコンセプトを作成し

た。CABは、Solwara 1 プロジェクトに面する New Ireland 州の幾つかの地方行政区に対して適用される予定である。

(5) 鉱業プロジェクトからの全収入の申告を利害関係者に義務付ける制度の検討

2017 年 10 月の報道によれば、鉱物政策及び地質ハザード管理省は、全ての利害関係者に対して鉱業プロジェクトに関連する全ての収入を申告させる制度を検討していることを明らかにした。利害関係者とは州政府、監督官庁、鉱物資源開発会社、土地所有者組合の組合長、土地所有企業の CEO などを指し、四半期ごとに提出を求め、違反には処罰を伴うとしている。

(6) Ok Tedi 鉱山の環境問題等に係る査問委員会の立ち上げを表明

2018 年 4 月の報道によれば Peter O' Neill 首相は BHP がかつて保有していた Ok Tedi 鉱山の環境汚染等の様々な問題、また Ok Tedi 鉱山の閉山の際に BHP が Western 州の開発のために設立した PNG Sustainable Development Program に関する調査を実施するための査問委員会を設立する予定であると議会において述べた。

(7) Bougainville 自治州政府の動向

2017 年 4 月、Bougainville 自治州政府の John Momis 大統領は、過去 40 年以上に亘って実施されてきた同自治州政府内における鉱山開発及び探鉱の一時停止措置（モラトリアム）を解除することを発表した。今回、同措置が解除された地域は多くの資源が埋蔵されているとみられる Tore、Isina 及び Jada の各地域を含む一方、Panguna 鉱山が位置する Panguna 地域は解除の対象から外れている。

Panguna 鉱山についても Bougainville 自治州政府としては操業を再開させる意向であったが、2017 年 6 月に土地所有者との間で鉱山再開に係る合意文書に署名予定であったところ同鉱山の再開に反対するグループによって署名が阻止されてしまった。このような状況の下、2018 年 1 月には Bougainville 自治州政府は Bougainville Copper Limited (BCL) 社による Panguna 鉱山の鉱業権の更新に対して正式に無期限のモラトリアムを適用した。なお同鉱山については豪州の RTG Mining 社が土地所有者と共に同鉱山を再開する意向を示している。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2015 年	2016 年	2017 年	対前年増減比 (%)
銅 (千 t)	45.2	80.0	104.5	30.6
ニッケル (千 t)	25.6	22.3	34.7	55.7
金 (t)	55.4	57.0	54.9	-11.5
銀 (t)	71.6	90.0	90.0	0.0

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出货量

表 3-2. 精鉱・地金等輸出货量

鉱種	2015 年	2016 年	2017 年	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
銅 (千 t)	46.4	71	100.4	41.4%	ドイツ、韓国、日本
金 (t)	53.5	59.1	61.8	4.6%	ドイツ、韓国、日本
ニッケル (千 t)	21.6	22.4	35.8	59.8%	中国
コバルト (千 t)	2.1	2.3	3.4	47.8%	中国

(出典: Bank of Papua New Guinea and the Commodity Boards, International Trade Centre)

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	生産量 (千 oz)	備考
Hidden Valley	Harmony Gold Mining (100)	金	92	生産データ: 2017 年 7 月~2018 年 6 月 (出典: Harmony Gold Mining FY18 Results) 2016 年 9 月に Harmony Gold Mining 社が Newcrest Mining 社が保有していた 50% の権益を取得することで合意し、Harmony Gold Mining 社は同年 10 月に取得を完了し権益保有分を 100% とした。 2018 年 7 月には同年 6 月の生産量が商業レベルに達したことを発表。2018/19 年度には 180,000oz の生産を行うことを目標としている。
Lihir	Newcrest Mining (100)	金 銀	955 57	生産データ: 2017 年 7 月~2018 年 6 月 (出典: Newcrest Quarterly Report) 2017/18 年度もミルなどプラントの稼働が好調であったこと等から 3 年連続で生産量記録を更新。
Ok Tedi	Ok Tedi Mining (OTML) (OTML 社は PNG 政府の保有)	銅 金	105 (Kt) 271	生産データ: 2017 年 1~12 月 (出典: Ok Tedi Mining Limited Annual Review 2017) 2018 年 2 月に労働条件に不満を持つ労働者が鉱山現場で抗議活動を行ったところ違法行為として 100 名以上が解雇。 2018 年 2 月に発生した大地震により地滑りでアクセス道路が封鎖される等の被害が発生。
Porgera	Barrick (Niugini) (95) (Barrick Gold と中/紫金鉱業 (Zijin Mining) 社による出資比率 50:50 の JV) Enga 州政府 (2.5) 地元の土地所有者 (2.5)	金	495	生産データは 2017 年 1~12 月 (出典: Barrick Gold Corp Financial Report 2017) Barrick (Niugini) 社は Barrick Gold 社の 100% 子会社であったが、2015 年 8 月に同子会社のシェアの半分を Zijin Mining 社に売却。この結果、Barrick Gold 社と Zijin Mining 社の本鉱山の権益保有割合は各々 47.5% となった。 2018 年 2 月に発生した大地震の影響で操業を縮小していたが損害を受けた発電施設の修理完了等により同年 6 月にフル操業を再開。

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	生産量 (千 oz)	備考
Simberi	St Barbara (100)	金	135	生産データは2017年7月~2018年6月(出典:St Barbara Ltd. Annual Report 2018) 2018年3月7日、約6割の労働者による違法な作業停止行為を受けて安全上の理由から生産を停止。その後、労働産業省の仲介で問題解決を図り3月14日にフル生産を再開。
Ramu	MCC Ramu NiCo (85) Highlands Pacific (8.56) PNG 政府及び土地所有者 (6.44) (MCC Ramu NiCo 社は中国冶金科工(Metallurgical Corporation of China)社が61%、その他の中国企業が39%のシェアを保有) (Highlands Pacific 社の主要株主はカナダのCobalt 27社(13.04%)、中国 Guangdong Rising Assets Management 社(広東省広晟資産経営有限公司)(11.8%)等)	ニッケル コバルト	34,666(t) 3,308(t)	生産データは2017年1~12月 (出典:Highlands Pacific Annual Report 2017) 負債返済等の所要の手続きが完了すればHighlands Pacific 社の権益保有比率は11.3%にまで増加予定。さらに同社は20.55%にまで高めるオプション権も保有。 2018年4月、Ramu NiCo 社の副社長の発言によれば、Ramu 鉱山のメインライフは約25年とされているところ、最近の探鉱や鉱石の発見により30年以上になる見込み。 2018年5月、カナダのCobalt 27社がHighlands Pacific 社との間で、Ramu 鉱山においてHighlands Pacific 社が取得するコバルトのうち55%分、ニッケルのうち27.5%分を取得する権利を1億1,300万US\$で取得することに合意。Highlands 社はこの取引で得られる利益を負債の返済に充てて同鉱山の権益を現在の8.56%から11.3%に高める予定。またCobalt 27社はHighlands 社の株式の約13%を取得することにも合意。
Tolukuma	Asidokona Mining Resources (100)	金	-	2015年11月にシンガポール系のAsidokona Mining Resources 社がPetromin Holding 社から買収。当鉱山は現在生産を停止しているがAsidokona 社は生産再開すべくリハビリ作業を実施。当初は2017年7月に生産開始予定であったが遅延している。
Kainantu	K92 Mining (100)	金	-	2009年以降、操業を停止。 2015年にK92 Mining 社がBarrick Gold 社から買収し、処理プラント等のリハビリを実施して2016年10月に生産再開。 2017年8月、地元の雇用が少ない等不満を持つ地元地権者がトラックなど鉱山の機器を破壊する事態に発展。同年9月に生産再開。 2018年2月、K92 社はKainantu 鉱山からの生産量が商業規模に達したことを発表した。

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量 (千 oz)	備考
Panguna (Bougainville)	Bougainville Copper (BCL) (BCL 社の保有シェアの比率は Bougainville 自治州政府： 36.4%、PNG 政府：36.4%、その他： 27.2%)	銅 金 銀	-	1989 年、住民紛争により現在まで操業停止の 状態にある。 2016 年 6 月、Rio Tinto は Bougainville Copper (BCL) 社の保有株式 53.8% を無償で PNG 政府及び同国 Bougainville 自治州政府 (ABG) に譲渡。PNG 政府に 17.4%、ABG に 36.4% が譲 渡された。この結果、BCL 社における ABG と PNG 政府との保有シェアは共に 36.4% となった。 同鉱山については BCL 社の鉱業権の更新が停 止される一方、BCL 社による開発に反対する地権 者グループが、豪州の RTG Mining 社主導による 開発を望んでいる。2018 年 9 月の報道によれば RTG 社は Bougainville 自治州議会に対して同鉱 山の再開発のための提案書を提出した。

(出典：各社 HP)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト

案件名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	探鉱 段階	場所	概要／最近の動向
Frieda River	PanAust (80) (PanAust 社は中国 Guangdong Rising Assets Management (広東省広晟資産経営有 限公司) の 100% 子会社 Highlands Pacific (20) (Highlands Pacific 社 の主要株主はカナダの Cobalt 27 社 (13.04%)、中国 Guangdong Rising Assets Management 社 (広東省広晟資産経営有 限公司) (11.8%) 等)	銅 金 銀	DFS	Sandaun 州	2014 年 8 月に PanAust 社が Glencore から Frieda River の権益を買収。 2016 年 5 月に F/S 完了。同年 6 月に鉱物資源庁 に特別マイニングリース (SML) の認可申請。同 年 12 月には環境影響評価を環境保護庁に提出。 SML が与えられた際には PNG 政府が 30% の権 益を取得する権利を有する。この権利が行使さ れた場合、各社の保有権益は PanAust 社が 55%、 Highlands 社が 15% となる予定。 2017 年 3 月に発表された資源量及び埋蔵量は 以下の通り。 精測資源量：6.2 億 t (Cu 0.53%、Au 0.30g/t)、 概測資源量：12.4 億 t (Cu 0.44%、Au 0.22g/t) 確定埋蔵量：4.13 億 t (Cu 0.54%、Au 0.32g/t)、 推定埋蔵量：2.72 億 t (Cu 0.45%、Au 0.21g/t) 今後 F/S の更新を予定しており 2018 年中に完 了の見込み。 なお、Highlands Pacific 社は PanAust 社との 間で資金拠出及び推進方法を巡って係争してい たが、仲裁で最終的な問題解決を図ることで合 意した旨、2017 年 7 月に発表、現在審理が進め られている。
Simuku	Copper Quest (51) (Coppermoly の子会社) Barrick Gold (49)	銅 モリブデン 金 銀	探鉱	West New Britain 州	2009 年 5 月に下記資源量を発表。その後のア ップデートはなし。 予測資源量：2 億 t (Cu 0.3% 換算 Cut-off) 品位：Cu 0.36%、Mo 0.006%、Au 0.06g/t、Ag 2g/t
Nakru	Copper Quest (51) (Coppermoly の子会社) Barrick Gold (49)	銅 モリブデン 金 銀	プレ FS	West New Britain 州	2017 年 3 月完了の掘削プログラム結果を基に アップデートされた資源量は以下の通り (2017 年 6 月発表)。 【Nakru-1】 予測資源量：21.7Mt (Cu 0.3% Cut-off) 品位：Cu 0.96%、Au 0.28g/t、Ag 2.05g/t 【Nakru-2】 予測資源量：7.4Mt (Cu 0.3% Cut-off) 品位：Cu 0.80%、Au 0.04g/t、Ag 2.82g/t 2017 年 5 月、探鉱ライセンスを 2018 年 12 月ま で延長。

案件名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	探鉱 段階	場所	概要／最近の動向
Yandera	Era Resources (100)	銅 モリブデン 金	FS	Madang 州	2015 年 11 月、Marengo Mining 社が Era Resources 社に社名変更。 2016 年 12 月に発表された資源量のアップデートは以下の通り。 精測資源量:196Mt (Cu 0.15% 換算 Cut-off) 品位: Cu 0.38%、Mo 0.01%、Au 0.10g/t 概測資源量:532Mt (Cu 0.15% 換算 Cut-off) 品位: Cu 0.31%、Mo 0.01%、Au 0.06g/t 予測資源量:231Mt (Cu 0.15% 換算 Cut-off) 品位: Cu 0.29%、Mo 0.00%、Au 0.04g/t
Edie Creek	Niuminco (100)	金 銀	探鉱 (後期)	Morobe 州	2014 年 2 月、ML144 鉱区の認可期限を 2022 年 まで延長。パイロット規模の採掘を実施中。 2017 年 8 月、83%分の権益を保有していた Niuminco 社が Mincor Resources 社保有の 17% の権益を取得し、保有比率を 100%とした。
Normanby (Imwauna)	Gen III Oil (100)	金 銀	プレ FS	Milne Bay 州	予測資源量:1.8Mt 品位: Au 12.2g/t、Ag 20.0g/t 2017 年 5 月、PNG Gold 社が Gen III Oil 社に 社名変更。
Fergusson Island	Crater Gold Mining (100)	金	プレ FS	Milne Bay 州	[Gameta] 予測資源量:5.1Mt 品位: Au 1.8g/t
Crater Mountain	Crater Gold Mining (100)	金	FS	Eastern Highlands 州	予測資源量:24Mt (Au 0.5g/t Cut-off) 品位: Au 1.0g/t
Wafi- Golpu	Harmony Gold Mining (50) Newcrest Mining (50)	金 銅 銀	FS	Morobe 州	2016 年に発表された資源量及び埋蔵量のア ップデートは以下の通り。 [Wafi] 概測資源量:113.5Mt 品位: Au 1.72g/t 予測資源量:22.7Mt 品位: Au 1.30g/t 2016 年 8 月、特別マイニングリース (SML) を 申請。また同年末に環境認可を申請。 2018 年 3 月に FS をアップデート [Golpu] 推定鉱石埋蔵量 200Mt 品位: Au 0.86g/t、Cu 1.2%
Mt Penck	Vangold Mining (95) その他 (5)	金 銀	探鉱	West New Britain 州	2012 年、3D-IP 探査を実施し、ポーリングタ ーゲットを抽出。 2017 年 5 月、Vangold Resource 社が Vangold Mining 社に社名変更。
Mambare	Direct Nickel (50) Regency Mines (50)	ニッケル コバルト	プレ FS	Oro 州	予測及び概測資源量:162Mt 品位: Ni 0.94%、Co 0.09%
Wowo Gap	Resource Mining (100)	ニッケル コバルト	FS	Oro 州	予測及び概測資源量:125Mt 品位: Ni 1.06%、Co 0.07%
Amazon Bay	Foy Group (90) TVI Pacific (10)	鉄 チタン バナジウム	プレ FS	Central 州	2013 年、Margarida 地区及び Deba 地区のサン プル 600kg を用い製錬試験を実施し、2014 年に 終了。
Solwara 1	Nautilus Minerals (85) Eda Kopa (15) (国営 Kumul Minerals の子会社)	銅 金 銀 亜鉛 鉛	FS	海洋	予測及び概測資源量:2.8Mt 品位: Cu 7.7%、Au 5.7g/t、Ag 31.8g/t、Zn 0.94% 水深約 1,600m の海底熱水鉱床の開発計画で あり、2009 年 12 月に環境認可、2011 年 1 月に マイニングリースを取得。 しかし PNG 政府との間で係争が発生し、2014 年 4 月、PNG 政府が 15%の権益を保有する事、 更に 15%の権益を追加取得できる権利を得た事 で解決した。 Nautilus 社では、必要な資金が調達されれば 2019 年第 1 四半期からの試験生産の実施を予定 している。2017 年 12 月の報道によれば Nautilus Minerals 社は金融機関や株主との間で 2019 年 に Solwara 1 プロジェクトの採掘を開始するた

案件名	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種	探鉱 段階	場所	概要／最近の動向
					<p>めに必要な機材用の資金調達に関する協議を行っている。</p> <p>2018年2月には Nautilus 社は Solwara 1 プロジェクトの周辺海域において、2,558 km²の面積をカバーする2年間の探鉱権を取得したことを発表した。</p> <p>また同月には Nautilus 社は Solwara 1 海底熱水鉱床開発プロジェクトに使用する海底探掘機の水面下稼働試験を実施したことを発表。また、同プロジェクトに関する予備的経済性評価の結果を発表した。さらに同年5月には海底熱水鉱床などの探鉱を容易にすることを目的とした、自動運転型の海底堆積物採取装置の初試験に成功したと発表</p> <p>一方、同年7月には Nautilus 社は契約金支払い不履行を理由に、生産支援船建造の契約解除を造船所から通知されたことを発表、造船所側との協議は今も継続していることも併せて発表されている。</p> <p>なお、Anglo American は Nautilus Minerals 社の4%の株式を保有していたが2018年5月にこれを売却し、Nautilus 社への出資から撤退した。</p>
Kili Teke (Tari)	Harmony Gold Mining (100)	銅 金 モリブデン	探鉱	Southern Highlands 州	<p>2016年6月に資源量を改訂。 予測資源量 : 222Mt 品位 : Cu 0.4%、Au 0.2g/t、Mo 170g/t 2017年度も掘削実施予定であり予算額は約1,760万US\$を予定。また Pre-concept study に着手予定。</p>
Star Mountains	Highlands Pacific (100)	銅 金	探鉱	Sandaun 州	<p>2017年9月に新たなボーリングによる探鉱の結果を発表し、26.8m@ Cu 0.97%、Au 0.34g/t (掘進長 136m 以深) 等の結果が得られた。</p> <p>2015年2月に Anglo American が51%の権益を取得する権利を得ることに合意、2017年7月には2,500万US\$を投資してプロジェクトの運営権を得ると共に15%の権益を取得したが2018年2月にはこの権益の売却を発表し Anglo American は当プロジェクトから撤退した。</p>
Sewa Bay	Highlands Pacific 双日/大平洋金属	ニッケル	探鉱	Milne Bay 州	<p>Highlands Pacific 社が双日及び大平洋金属と共に活動中。2015年8月に掘削を実施し、1.1m@ Ni 1.61%等の結果が得られた。LIDAR 探査は終了し、今後の展開については検討中。</p>
Woodlark	Kula Gold (95) Geopacific Resources (5) (なお Geopacific 社は Kula Gold 社の85%分のシェアを保有していることから Geopacific 社の Woodlark プロジェクトにおけるシェアは実質的には86%となる。また Geopacific 社は同プロジェクトの直接保有分を51%として、実質的な持ち分を93%とする要件も満たしている)	金	FS	Milne Bay 州	<p>2018年3月にプレFSの結果を発表 精測資源量 : 21.24Mt 品位 : Au 1.10g/t 概測資源量 : 18.94Mt 品位 : Au 0.98g/t 予測資源量 : 6.80Mt 品位 : Au 1.00g/t 資源量 計 : 47.00Mt 品位 : Au 1.04g/t (含金量は 48.9t) 確定埋蔵量 : 22.0Mt 品位 : Au 1.04g/t 推定埋蔵量 : 12.7Mt 品位 : Au 0.90g/t 埋蔵量 計 : 34.7Mt 品位 : Au 0.99g/t (含金量は 34.2t) 10年間で計3.1tの金を生産する計画 現在 DFS を実施中。</p>

(出典 : 各社 HP) 注) Mt は百万トン

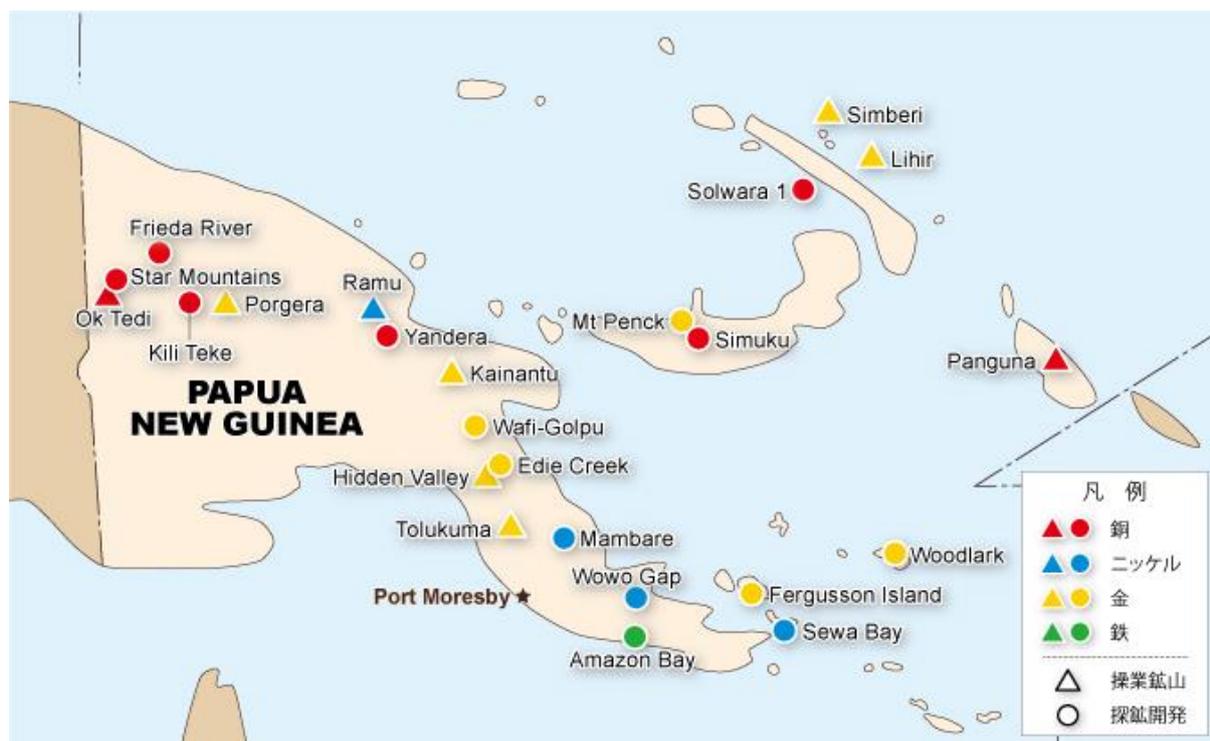


図 1. 主要鉱山、プロジェクト位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. 精鉱・地金等輸出量(グロス量)

鉱種	2015 年	2016 年	2017 年	対前年増減比(%)
銅鉱石(千t)	92.0	201.8	218.5	8.3

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

双日及び大太平洋金属が、Highlands Pacific 社と共に Sewa Bay ニッケル探鉱プロジェクトを実施中。

7. その他トピックス

京都大学等の共同研究で開発された水銀排出削減技術を鉱物資源庁が推奨

2018 年 1 月の報道によれば Morobe 州で実施された鉱物資源庁、PNG 工科大学及び京都大学の共同研究によって開発された砂金回収技術が、小規模金採掘者の水銀健康被害を抑制するのに効果的であることが鉱物資源庁により認められた。この技術は砂金回収の過程で生じる水銀アマルガムから、水銀を蒸発・回収する日本製キットの性能や実用性、運用方法の全体的な評価に関する研究の結果生み出されたもの。

(2018. 9. 30 シドニー事務所 山下 宜範)